

動物実験に関する 3 R の原則

動物実験に関する 3 R の原則 どうぶつじっけんにかんするすりーあーるのげんそく

生命科学、ことに人類の生存と健康維持に直接関わる健康科学において、動物実験は重要な役割を果たしてきた。3 R の原則とは1959年に英国のRussellとBurchによって提唱され、国際的に普及・定着している動物実験および実験動物の福祉の基本理念であり、次に示すRである。できる限り動物を供する方法に代わり得るものを利用する代替法の活用（Replacement）、できる限りその利用に供される動物の数を少なくする使用数の減少（Reduction）、その利用に必要な限度において、できる限りその動物に苦痛を与えない方法による苦痛の軽減（Refinement）。「3 R の原則」に基づく配慮事項を新たに盛り込んだ法律として、2005年6月に「動物の愛護及び管理に関する法律（動物の虐待防止や適正な取扱い、管理等）」が改正され、2006年6月に施行された。

<登録年月>
2007年07月
